

事業群評価調書（令和7年度実施）

| | | | | |
|-------|-------------------------------|----------------|---------------------------------|---------|
| 基本戦略名 | 1-1 若者の県内定着、地域で活躍する人材の育成を図る | 事業群主管所属・課(室)長名 | 教育庁 生涯学習課 | 藤井 大作 |
| 施策名 | 8 いつまでも健康で生涯を通じて学び、活躍できる社会の実現 | 事業群関係課(室) | 義務教育課 | |
| 事業群名 | ⑧ 豊かな人生を支える県民の学習環境の整備 | 令和6年度事業費(千円) | ※下記「2. 令和6年度取組実績」の事業費(R6実績)の合計額 | 288,260 |
| | ⑨ 地域の元気づくりのための社会教育の充実・活性化 | | | 26,519 |

1. 計画等概要

(長崎県総合計画チェンジ&チャレンジ2025 本文)

⑧価値観や生活の多様化が進む中で、それぞれのライフステージや時代の変化に応じた学習機会が得られ、その成果を社会に還元できる環境を整備します。
⑨地域社会における人づくり・絆づくり・地域づくりを進めるため、地域を担う人材の育成や社会教育の中核的な機能を有する公民館の活性化を図ります。

(取組項目)

i) 「ながさき県民大学」の充実など県民のニーズに対応した生涯学習環境の整備（事業群⑧）
ii) 市町立図書館の支援、県民の課題解決支援サービスの実施、視覚障害者等のための読書環境の整備など県立図書館の機能充実（事業群⑧）
iii) 夜間中学※の設置に向けた検討（事業群⑧）
iv) 公民館を核としたふるさとの絆づくりを目指す活動の推進（事業群⑨）
v) 多世代・多分野で協働するプログラムを通じた社会教育関係者の育成（事業群⑨）
※夜間中学：年齢や国籍等を問わず、様々な理由で中学校を修了していない人や学び直しを求める人が通う、夜の時間帯に授業が行われる中学校夜間学級のこと

事業群

| 指 標 | | 基準年 | R3 | R4 | R5 | R6 | R7 | 最終目標（年度） | （進捗状況の分析） |
|---------------------------------------|--------|--------------|----------|----------|----------|----------|----------|------------------|--|
| ⑧ながさき県民大学の講座受講者数 | 目標値① | | 590,000人 | 590,000人 | 590,000人 | 590,000人 | 590,000人 | 590,000人以上維持（R7） | ⑧ながさき県民大学の講座受講者数は、令和元年度は590,000人を超えていたが、令和2年度以降、新型コロナウイルス感染拡大による講座の中止や少人数講座の増加により減少した。その後回復してきているが、令和6年度の講座受講者数は482,197人と目標値には届いていない。現在、幅広い年代の受講者が意欲的に生涯学習に取り組むことができるよう、様々な種類の講座情報登録やオンラインでの実施など、県民の学習機会の確保及び意欲向上に努めている。 |
| | 実績値② | 592,387人（R元） | 285,361人 | 450,431人 | 451,329人 | 482,197人 | | 進捗状況 | |
| | 達成率②／① | | 48% | 76% | 76% | 81% | | 遅れ | |
| 指 標 | | 基準年 | R3 | R4 | R5 | R6 | R7 | 最終目標（年度） | |
| ⑨社会教育関係者等スキルアップ連続講座及び県社会教育研究大会等の参加満足度 | 目標値① | | 93%以上 | 93%以上 | 93%以上 | 93%以上 | 93%以上 | 93%以上（R7） | ⑨社会教育の充実・活性化を目標に、参加者のニーズに応じた研修会等を企画した。また、参加者の受講しやすさにも配慮してオンライン併用でも開催した。質の高い、人材育成につながる研修会等を実施することで、参加満足度93%以上を達成した。 |
| | 実績値② | 93%（H30） | 98.6% | 98.0% | 97.8% | 95.1% | | 進捗状況 | |
| | 達成率②／① | | 100% | 100% | 100% | 100% | | 順調 | |

2. 令和6年度取組実績（令和7年度新規・補正事業は参考記載）

| 取組項目 | 中核事業 | 事業番号 | 事務事業名 | 事業費（単位:千円） | | | 事業概要 令和6年度事業内容及び実施状況 （令和7年度新規・補正事業は事業内容） | 指標（上段：活動指標、下段：成果指標） | | | | 令和6年度事業の成果等 |
|-----------|------|------|-------------|------------|------------------------|----------------------|---|--|--------------------------|-------|------|--|
| | | | | R5実績 | うち 一般財源 | 人件費 （参考） | | 主な指標 | R5目標 | R5実績 | 達成率 | |
| | | | | R6実績 | | | | | R6目標 | R6実績 | | |
| | | | | R7計画 | | | | | R7目標 | | | |
| | | | | 事業実施の根拠法令等 | | | | 事業対象 | | | | |
| | | | | 事業期間 | 法令による 事業実施の 義務付け | 県の裁量 の余地が ない事業 | | | 他の評価 対象事業 （公共、研究等） | | | |
| 所管課(室)名 | | | | | | | | | | | | |
| 取組項目 1 | ○ | 1 | ながさき県民大学事業費 | 3,271 | 3,271 | 5,361 | ●事業内容 県及び市町、大学等で実施している生涯学習に関する事業を体系化し、県民に学習機会を効果的に提供することや、受講状況を評価すること等により、県民の学習意欲を高めることで、地域における生涯学習の一層の振興を図る。 ●実施状況 多様な人々のニーズに対応するため、新たな連携先の開拓に努めるとともに、各市町等へのまなびの手帳の配布やSNSへの情報掲載等の周知活動を積極的に行った。 県内に居住又は勤務・通学する者 | 【活動指標】 ながさき県民大学の講座数(講座) | 2,500 | 3,493 | 139% | ●事業の成果 ・令和6年度は3,393講座であり、講座数は目標を達成している。主催講座については受講者の満足度は高く、成果が上がっている。奨励賞受賞者は50名で、うち19名が18歳未満の受講者であった。 ●事業群の目標達成への寄与 ・県民の学習意欲を高め、地域における生涯学習の振興を図るうえで効果的な取組であり、事業群の目標達成に寄与した。 |
| | | | | 2,576 | 2,576 | 3,154 | | | 2,500 | 3,393 | 135% | |
| | | | | 3,768 | 3,737 | 3,151 | | | 2,500 | | | |
| | | | | H20- | 生涯学習振興法第3条 | | | 【成果指標】 ながさき県民大学（主催講座）における受講者の満足度（％） | 98以上 | 99 | 100% | |
| | | | 98以上 | | | | | | 100 | 100% | | |
| | | | 生涯学習課 | ○ | — | — | | | 98以上 | | | |

| | | | | | | | | | | | | |
|-----------|--|---|-----------------|------------|----|----------------------|--|--------------|-------|-----|------|---|
| 取組項目 i | | 2 | 生涯学習情報提供システム運営費 | 247 | 0 | 3,830 | ●事業内容 県民のさまざまな学習活動を支援するため、インターネットを活用した生涯学習情報提供システムを構築し、講座情報をはじめとする生涯学習関連情報を効果的に提供する。 ●実施状況 「おすすめの講座・イベント」や「新着情報」を随時更新するなど、利用者にとって魅力ある情報を発信することで、利用者の拡大に努めた。 | 【活動指標】 | 100 | 116 | 116% | ●事業の成果 ・「おすすめの講座・イベント」や「新着情報」等さまざまな情報発信を随時行ったが、昨年度よりアクセス数が減少する結果となった。今後は引き続き各種コンテンツの更新を随時行いながら、必要に応じてシステムを改修していくとともに、「ながさき県民大学事業」や「ながさき まなびネット」の魅力を伝える工夫を検討していく。 |
| | | | | 38 | 38 | 2,365 | | 新着情報の掲載件数(件) | 100 | 154 | 154% | |
| | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | |
| | | | (R6終了)H18-R6 | 生涯学習振興法第3条 | | | | 【成果指標】 | 100以上 | 96 | 96% | |
| | | | | | | システムへのアクセス件数の前年度比(%) | 100以上 | 79 | 79% | | | |
| | | | 生涯学習課 | ○ | — | — | 県内に居住又は勤務・通学する者 | | | | | |

| | | | | | | | | | | | | |
|------------|---|---|----------|---------|---------|---------|---|--------------|--------|--------|------|---|
| 取組項目 ii | ○ | 3 | 図書館管理運営費 | 258,642 | 146,020 | 199,134 | ●事業内容 県立図書館において、知の拠点として、資料を充実させ、県内公共図書館等と連携・協力しながら、図書館サービスの充実を図る。 ●実施状況 資料の充実、講座等の開催、展示など、来館者サービスの向上を図るとともに、県内市町立図書館、学校図書館等に対する協力貸出や協力レファレンス、実務研修会を実施し、各図書館の運営に対する支援を行った。 また、電子書籍の充実及び郷土資料のデジタル化・アーカイブ化を通じて、地理的な制約や障害等に関わらず図書館資料を閲覧できる環境を整備し、非来館型サービスの充実を図った。 | 【活動指標】 | 3 | 3 | 100% | ●事業の成果 ・サービスの向上を図ることで、県民の課題解決や学習活動の支援につながった。また、県内各図書館の支援を行うことにより、当館に来館できない県民にも読書活動の支援を行うことができた。 ●事業群の目標達成への寄与 ・資料の充実、県内図書館の支援、電子書籍、障害者サービス等を通して、年齢、居住地、国籍、障害の有無に関わらず県民の誰もが読書に親しみ、生涯を通じて学ぶことができる環境を整えた。 |
| | | | | 285,646 | 161,949 | 204,984 | | 実務研修会実施回数(回) | 3 | 3 | 100% | |
| | | | | 336,788 | 200,816 | 204,828 | | 3 | | | | |
| | | | | | | | | 【成果指標】 | 49,000 | 46,930 | 95% | |
| | | | 図書館法第3条 | | | | 県立図書館から市町立・学校図書館等への蔵書貸出冊数(冊) | 49,000 | 46,153 | 94% | | |
| | | | — | | | | | | | | | |
| | | | 生涯学習課 | ○ | — | — | 県内に居住又は勤務・通学する者 | | 49,000 | | | |

| | | | | | | | | | | | | |
|-----------------|---|---|-----------|-----------------|--------|--------|---|--|------|----|------|--|
| 取組項目 iv v | ○ | 4 | 社会教育振興促進費 | 24,743 | 24,743 | 18,382 | ●事業内容 社会教育の充実及び振興に資するため、社会教育関係者としての知識の習得や役割等についての理解を深め、県内の社会教育関係者等のネットワークを広げるとともに、指導力や実践力、コーディネート力の向上を図る。 ●実施状況 市町社会教育担当課、県社会教育委員連絡協議会、県公民館連絡協議会、社会教育関係団体との協力・連携をとりながら、社会教育振興のための研修会や研究大会を県内各地で実施した。 | 【活動指標】 | 21 | 20 | 95% | ●事業の成果 ・活動指標については、21回の目標のうち、21回を達成できた。成果指標については、満足度97%であり目標を十分に達成した。 ●事業群の目標達成への寄与 ・地域社会における人づくり・絆づくり・地域づくりを進め、地域を担う人材の育成や社会教育の充実・活性化に寄与した。 |
| | | | | 26,519 | 26,519 | 21,287 | | 社会教育関係者等スキルアップ連続講座及び県社会教育研究大会等の実施回数(回) | 21 | 21 | 100% | |
| | | | | 28,238 | 28,238 | 12,605 | | 21 | | | | |
| | | | | | | | | 【成果指標】 | 93以上 | 97 | 100% | |
| | | | H16- | 社会教育法第6条、同第9条の6 | | | | 公民館職員等研修会及び県公民館大会、県社会教育研究大会参加者満足度(%) | 93以上 | 97 | 100% | |
| | | | 生涯学習課 | ○ | — | — | 社会教育関係者 | | 93以上 | | | |

3. 実績の検証及び解決すべき課題と解決に向けた方向性

| | |
|---|--|
| <p>i 「ながさき県民大学」の充実など県民のニーズに対応した生涯学習環境の整備</p> <p>●実績の検証及び解決すべき課題</p> <p>受講者数は目標値を達成できなかったが、講座数は目標値を達成できた。また、主催講座の受講者の満足度も高く成果がみられた。今後は、ながさき県民大学及び生涯学習情報提供システム「ながさき まなびネット」の更なる周知・広報が課題となる。</p> | <p>●課題解決に向けた方向性</p> <p>ながさき県民大学運営委員会等での協議を踏まえ、県民のニーズの多様化や生活スタイルの変化に応じた講座の企画や関係団体への連携依頼を行うとともに、県の広報媒体・SNSやポスター等を活用した広報活動など、周知方法について検討を行う。</p> |
| <p>ii 市町立図書館の支援、県民の課題解決支援サービスの実施、視覚障害者等のための読書環境の整備など県立図書館の機能充実</p> <p>●実績の検証及び解決すべき課題</p> <p>県内公共図書館職員の資質向上を目的とし、年3回の実務研修を開催したほか、市町立図書館へ出向いて図書館運営について情報交換を行った。また、市町立図書館のネットワークの中心として資料や情報の提供を行った。</p> <p>市町立図書館等への貸出冊数は目標値に達しなかった。社会のデジタル化等により、全国的に図書館の貸出冊数は減少傾向にあり、県内の図書館も同じ状況である。これに伴い、市町立図書館からの貸出依頼も減少したことにより目標達成には至らなかったものの、市町からの依頼には100%対応できている。</p> | <p>●課題解決に向けた方向性</p> <p>県民の情報拠点として、高度化・多様化・専門化する県民の要求や社会のニーズに応じ、必要とする資料や情報の充実を図り、引き続き市町図書館等への協力貸出を行っていく。また、県内公共図書館等のサービス向上をめざし、各図書館の要望も参考にしながら、実務研修会の内容を充実させる。また、今後は、県内図書館や学校等と連携して、図書館の利用者層の拡大を図り、県立図書館からの貸出冊数の増加につなげていきたい。さらに、居住地や障害の有無等によってサービスに差が生じないよう、図書館サービスについてさらに周知を図る必要がある。</p> |
| <p>iii 夜間中学の設置に向けた検討</p> <p>●実績の検証及び解決すべき課題</p> <p>令和7年4月に本県初となる中学校夜間学級（夜間中学）が佐世保市立祇園中学校に開級され、80代から10代の幅広い年代の生徒13名が入学し、学び直しに取り組んでいる。</p> | <p>●課題解決に向けた方向性</p> <p>夜間学級で学ぶ生徒は多様な実情やニーズを抱えているため、設置主体となる佐世保市との連携・情報交換を継続し、教育活動の充実が図られるよう、特別の教育課程編成等に係る助言を行う。</p> |
| <p>iv 公民館を核としたふるさととの絆づくりを目指す活動の推進</p> <p>●実績の検証及び解決すべき課題</p> <p>より参加しやすい環境を整えるために、テレビ会議システムを活用したハイブリッド型研修会を実施した。また、内容も事例発表及び意見交流という内容にしたため、受講者満足度は100%と高かった。今後も参加者のニーズを分析しながら、実践事例発表者及び講師の選定を進めていく必要がある。</p> | <p>●課題解決に向けた方向性</p> <p>研修会の実施前に受講者のニーズ調査を行い、そのニーズに沿った講師や事例発表者を招聘することで、受講者の実践につながりやすく、公民館運営や公民館活動の意欲が高まるような講座を開催していく。</p> |
| <p>v 多世代・多分野で協働するプログラムを通した社会教育関係者の育成</p> <p>●実績の検証及び解決すべき課題</p> <p>県社会教育研究大会や研修会では、地域のボランティア団体、まちづくりに関わるコーディネーター等、多世代・多分野の参画による事例紹介ができた。今後は、これまで以上に多世代・多分野で協働するプログラムの重要性を周知し、市町における実践につなげていくことが必要である。</p> | <p>●課題解決に向けた方向性</p> <p>今後も多世代・多分野で協働するプログラムの重要性を伝えるために、関係部局等の協力を得ながら、各市町で実践されている協働プログラムについて情報収集していく。また、研修会等においてその重要性を周知しながら、実践と人材育成につなげていく。</p> |

4. 令和7年度見直し内容及び令和8年度実施に向けた方向性

| 取組項目 | 中核事業 | 事業番号 | 事務事業名 | 令和7年度事業の実施にあたり見直した内容 | 令和8年度事業の実施に向けた方向性 | | |
|-----------|------|------|-------------|---|-------------------|---|-------|
| | | | 事業期間 | | 事業構築の視点 | 見直しの方向 | 見直し区分 |
| | | | 所管課(室)名 | | | | |
| 取組項目 i | ○ | 1 | ながさき県民大学事業費 | 講座実施機関へは、障害者などの配慮が必要な方を含め、誰もが受講しやすい講座開設に努めることを特に推奨するよう見直しを行い、福祉保健部等の関係課との連携を図りながら、ながさき県民大学主催講座の実施要綱の改変や市町担当者会での説明等を行った。 | ② | 共生社会の実現に向けた障害者の居場所づくりや社会参加を引き続き促進する。また、講座受講者数の課題については、変化する県民の生活スタイルを十分に考慮しながら、必要とされる講座開設に努めていくこととし、市町、大学等の実施機関や関係各課との連携を深め、現状の分析・対策を随時行っていく。 | 改善 |
| | | | H20- | | | | |
| | | | 生涯学習課 | | | | |
| 取組項目 ii | ○ | 3 | 図書館管理運営費 | 図書館の利用者層の拡大を図るため、県内高等学校及び特別支援学校に向けて県立図書館サービスの案内を送付した。また、市町立図書館等と利用者拡大の取組について課題を共有した。さらに、地理的制約や障害等に関わらずいつでも図書館資料を利用できる非来館型サービスのさらなる普及のため、市町図書館へ改めて周知するとともに、例年以上に体験会を実施するなど広報活動を積極的に行っていくよう見直しを図った。 | ⑨ | 学校・家庭・地域による社会総がかりの教育の実現に向けた児童生徒の学習支援・居場所づくり等を推進するとともに、引き続き各市町図書館を支援しながら、ともに図書館サービスの向上を目指す。また、利用者層の拡大を図るための取組を展開していく。さらに、今後も県民の学びの場や機会を持続的に提供できるツールとして電子書籍等の非来館型サービスの更なる充実に努め、図書館資料の利用促進及び地域間格差の解消につなげる。 | 改善 |
| | | | — | | | | |
| | | | 生涯学習課 | | | | |
| 取組項目 iv v | ○ | 4 | 社会教育振興促進費 | ホームページのさらなる充実といった広報活動の強化や、参加者のニーズに応じた講義や実践発表を実施した。また、会議及び研修会におけるオンライン配信併用の回数を増やし、参加希望者の利便性の向上を図った。 | ②⑤⑥ | 講座や研修会において、一方的な講義ではなく、参加者同士の意見交流の時間を増やすことで、県内の社会教育関係者のネットワークづくりにつなげる。 また、長崎県の社会教育を担う人材を育成するためにも、本県における社会教育主事講習の継続的实施を目指す。 | 改善 |
| | | | H16- | | | | |
| | | | 生涯学習課 | | | | |

注：「2. 令和6年度取組実績」に記載している事業のうち、令和6年度終了事業、100%国庫事業などで県の裁量の余地がない事業、公共事業評価対象事業、研究事業評価対象事業、指定管理者制度導入施設評価対象事業については、記載対象外としています。

| 【事業構築の視点】 |
|---|
| ① 視点① 事業群としての成果目標に対し、特に効果が高い事業の見極め、事業の選択と集中ができているか。 |
| ② 視点② 指標の進捗状況に応じて、その要因分析及びさらに高い効果を出すための工夫、目標に近づけるための工夫を検討・実施できているか。 |
| ③ 視点③ 人員・予算を最大限効果的に活用するための事務・事業の廃止・見直しができているか。 |
| ④ 視点④ 政策間連携により事業効果が高められないか。事業群としてリーダーの明確化、関係課の役割分担・協力関係の整理ができているか。 |
| ⑤ 視点⑤ 県と市町の役割分担・協力関係の整理・認識共有ができているか。 |
| ⑥ 視点⑥ 県と民間の役割分担・協力関係の整理・認識共有ができているか。 |
| ⑦ 視点⑦ 戦略的に関係者の行動を引き出せているか。 |
| ⑧ 視点⑧ 国制度等の最大限の活用が図られているか。国へ政策提案（制度改正要望）する必要はないか。 |
| ⑨ 視点⑨ 経済情勢等、環境の変化に対応した効果的・適切な見直しとなっているか。 |
| ⑩ その他の視点 |